

環境プラザ

答申書 9年2月

- ・ 各利用主体による運営委員会の設立が望ましい
- ・ プラザが行う事業に市民が参加し易くするため、市民の支援組織整備が望まれる
- ・ スタッフはコーディネーターとしての専門性を有することを重視

提言書 14年3月

運営母体

- ・ 市民ニーズ変化に柔軟に対応できる組織形態
- ・ 各利用主体の自主的な支援を受け入れやすい組織形態
- ・ 責任の所在や権限の明確化がなされた組織

事業運営の支援組織

- ・ 事業方針決定、支援、評価を行うための各主体で構成する運営委員会を設置すべき・・・ボランティア支援組織に助言を行える
運営委員会の委員は定期的に見直し
- ・ プラザ事業を効果的に実施するにはボランティア支援組織が必要
事業の支援
支援組織自ら企画・実施する自主企画事業をできるようにする

中間提言に対する市民意見 110件

- ・ スタートから全ての事業をすることは不可能だから、事業に優先順位をつけ絞り込んでやっていったほうが良い
- ・ 1年間のテーマを決めて各主体が何ができるか決めパートナーシップやることがよい
- ・ ボランティアの活用は重要（利用する市民の声を反映できる運営組織を）
- ・ 市民ボランティアは固定せず、育てることを考えるべき
- ・ 利用者の自主性を尊重し、その声を受け止め自主性が発揮できる運営を行うべき
- ・ 事業運営に当たっては、市民参加の求め方の工夫が必要
- ・ 市民参加で意見、要望を取り入れながら事業運営して欲しい
- ・ 情報公開し反響があったときにはそれを運営にいかしていくことが必要